



志民ネット 小栗佳仁

問 市税収入について伺います。

答 法人市民税につきましては、令和元年度実績により減収を見込むものの個人市民税は、雇用・所得環境の改善により、給与所得者の令和元年中の所得が増加していることから、増収を見込んでいます。固定資産税は、家屋の新増築分の増収を見込み、償却資産においても、令和元年中の企業の設備投資の増加により増収を見込むなど、市税全体として来年度の増収を見込みました。しかし、新型コロナウイルス感染症の日本経済への影響により、法人市民税の更なる減収が懸念されるところであり、今後の経済動向にも注視します。

問 キャリア教育とアクティブラーニングの推進について伺います。

答 キャリア教育を土台としながら、地域の教材や講師等を積極的に活用した地域との連携やアクティブラーニングの手法による学び合いにより、議員の言われるような、学力向上や相互理解

と尊重し合える人間関係の形成に繋がる教育活動を展開していきます。

問 排水能力の向上を図るべき対策について伺います。

答 過去の浸水被害を検証し、効果的な雨水管渠の整備を継続するとともに、より能力の高い排水ポンプを導入していきます。併せて、河川の流下能力を維持するため愛知県に対しても河川の堆積土の浚渫を強く要望していきます。

問 観光振興の目的と成果について伺います。

答 市外からの交流人口を増やすことに伴う消費による地域経済の活性化が第一義的な目的と成果ですが、「山車・蔵・南吉・赤レンガ」に代表される観光資源は本市の個性であり、それを活用した観光振興は、自分たちが住むまちへの愛着や誇りといった市民意識を高めていくことにも繋がります。すなわち、「市民お一人お一人が半田市を好きになっただけ」が、先人より受け継いできた伝統や文化、資産を保存・継承・発展させていく原動力となるものです。



維新・半田市民の会 中川健一

問 施政方針には選ばれたまちとなるための競争戦略が欠落していません。近隣市町のどこと比較をして選ばれるまちになるうとしていますか。

答 特定の比較対象となる市町を想定しているものはありません。まちの総合力を高め、半田を選択していただけるように取組んでいます。

問 半田病院と常滑市民病院との経営統合を機に、2市4町を合併し、人口30万人の中核市を目指すべきと考えます。また中核市になると児童相談所も自前で設置でき、子育て支援を充実させることができそうです。所見を伺います。

答 今のところ、知多地域で市町合併の機運が高まっているとは言えないのが実情です。現時点では広域による連携・取組みの拡大を進めます。また愛知県とも緊密に連携し、適切に役割分担しておりますので、市単独で児童相談所を設置する考えはありません。

問 2016年に市長の政策とは異なる半田

病院を高台へ移転させる政策を推進する市民団体の市民活動センターへの登録を職権乱用により拒否したことがありました。施政方針では多様性を認めたいとのことですが、今後は市長の政策と異なる政策を推進する市民団体でも市民活動センターへの登録を許可するとうことでよいですか。

答 市民活動支援センター管理規則に基づき、公益性があり、宗教的、政治的な活動に該当しない市民活動団体については、今後も公平・公正に手続きを行います。

問 市民がまちづくりで新たなチャレンジをしないのは、市役所主導のまちづくり、市民下請けの市民協働であるからと考えます。紺屋街道と亀崎と岩滑の景観まちづくりを題材に、見解をお尋ねします。

答 紺屋街道では地元住民を中心に結成された紺屋街道研究会を端緒としています。亀崎や岩滑地域では地元自治区の代表者と現地確認や意見交換を行い、地元説明会やパブリックコメントも実施をして、景観形成重点地区指定のご理解をいただいております。



議会用語メモ

一般質問

議員がその属する地方公共団体の行政全般に渡り問とい質たすこと。

一般質問は定例会（半田市では3月、6月・9月・12月の年4回開催）で行うことができます。

代表質問

所属会派を代表して行う質問。

半田市議会では3月定例会初日に行う、市長の施政方針に対して行うこととしていきます。

党派

政策的な考え方を同じくする議員同士が任意に結成する団体。
（半田市議会では2名以上で会派と認めています。）

質疑

議題となつている内容について、賛否等の態度決定が可能となるよう、明確な点について、提案者の説明や意見を求め明らかにすること。